

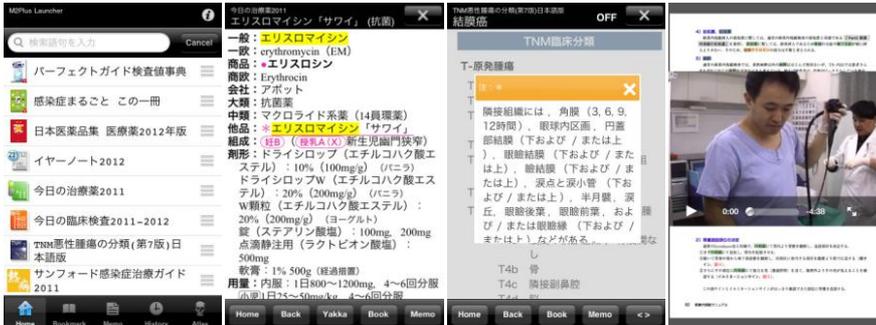
薬剤師業務に役立つ iPhone アプリ紹介

昨今のスマートフォン・タブレット等の普及には目を見張るものがあります。

今回は、iOS 端末 (iPhone・iPod touch・iPad) 上で利用できる、医療用アプリケーションを紹介します。



M2Plus Launcher 〈開発：J-MAC SYSTEM 価格：無料 (コンテンツは有料)〉



アプリ内に「今日の治療薬」「サンフォード感染症治療ガイド」等のコンテンツをインストールすることが出来ます。自分用の勉強メモを記録することも可能です。



調剤電卓 〈開発：TAKAFUMI MIZUGUCHI 価格：無料〉



現役の病院薬剤師さん作成のアプリ。調剤に必要な錠剤数の確認、体表面積や推定 CCr の計算等が簡単に行えます。



iNST mobile 〈開発：NPO 法人 岡山医師研修支援機構 価格：無料〉



NSTに必要な栄養設計を補助するアプリです。輸液のみならず、食事、栄養剤のデータも含めて入力・評価することが出来ます。



SRL 検査項目レファレンス 〈開発：SRL, Inc 価格：無料〉



検査の臨床意義や異常値を示す疾患・病態等、検査項目の詳細を確認することができます。

手前味噌で恐縮ですが、千代田病院 興梧の作成したアプリも紹介させていただきます。



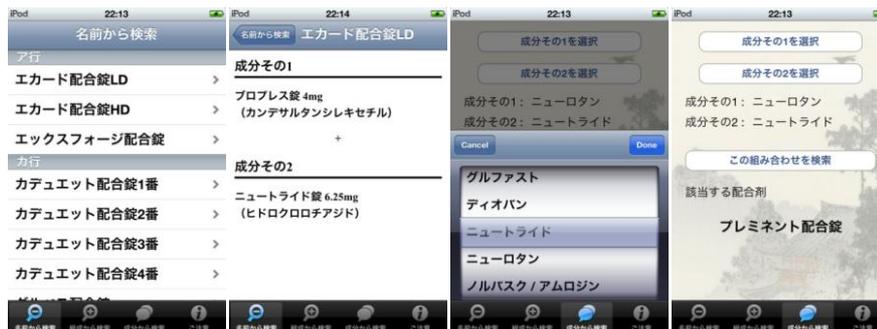
オピカル - オピオイド計算器 〈開発：Yasuyuki Kourogi 価格：無料〉



オピオイドローテーション、レスキュー薬剤の投与量計算、ローテーション時の薬剤切り替えタイミングの確認が出来ます。



合剤ワケシ - 配合剤早見表アプリ 〈開発：Yasuyuki Kourogi 価格：無料〉



プレミネント、レザルタス等、配合剤の成分内訳を確認することができます。

今回ご紹介した以外にも、たくさんの医療用アプリが存在します。iOS のみならず、Android、Windows Phone の発展により、この分野は今後益々の盛り上がりを見せると考えられます。

スマートフォンを業務中に使用することが難しい場合は、電話機能が無く、軽くて持ち運びし易い iPod touch がお勧めです。Amazon.co.jp や電器店等で購入できます。